

◆ 軽部さん

高山社では9名の方に解説員として活動していただいています。解説を聞いて、多くの方から「良かった」「よくわかった」と言っていただいています。これも人の繋がりだと思います。こういった繋がりを市民レベルまで広げていくことが私の希望です。藤岡は、古代から歴史の舞台を飾るようなものがありますが、地域の皆さんにも伝わっていないことが多いと感じています。関東管領の上杉氏が居城を構えた平井城趾がありますし、七輿山古墳は6世紀のものでは東日本最大です。このようなことを市民の方にひとつひとつ知っていただけると、地域がよくなっていくのではないかと思います。また、御神輿は、起爆剤、きっかけづくりになると考えています。周りの人が楽しめるような活動が広がれば、それをきっかけとして他の地域や人との繋がりが広がっていくと思います。そういうものがこれからのまちづくりのポイントになると考えています。

◆ 白石さん

藤岡のまちに魅力がないといけないと思います。そのため「ここには昔〇〇があった」など、町の中に小さな看板を設置し、看板を見ながら町の中を歩いてもらいたいと考えています。また、高山社跡は全ての内容を解説するには少し小さいのではないかと思いますので、まちの中に高山社の解説ができるような施設をつくり、町を見てもらう、高山社を勉強してもらう、諏訪神社も見ってもらう、というように町の中をぐるぐる回ってもらう仕組みをつくりたいと考えています。看板さえもできていない状況ではありますが、時間をかけて取り組みたいと思っています。御神輿も日の目を見るまで15年かかりました。15年くらいかかればひとつやふたつはできるかなと考えて取り組んでいきたいです。

◆ 小坂さん

これまで活動をしていて一番ありがたかったのは人の輪です。様々な面で協力していただく中で、各地域で、それぞれの人が、色々なことを学んでいることを目の当たりにしました。しかし、まだまだ、各地域・各時代の素晴らしいものを消化しきれていないと感じています。だからこそ発展性、伸びしろがあるのです。様々な場面で皆さんがボランティア活動に取り組み、人と人の輪を繋げて、この地域の皆さんの心の中に文化を創れるような活動が広がれば良いと思っています。

◇コーディネーター 群馬県の魅力をどのように掘り起こして、イメージアップに繋げていくか、考えを伺いたい。

